

# 公民館だより さくらぎ



平成19年 2月号

No. 227

桜木公民館

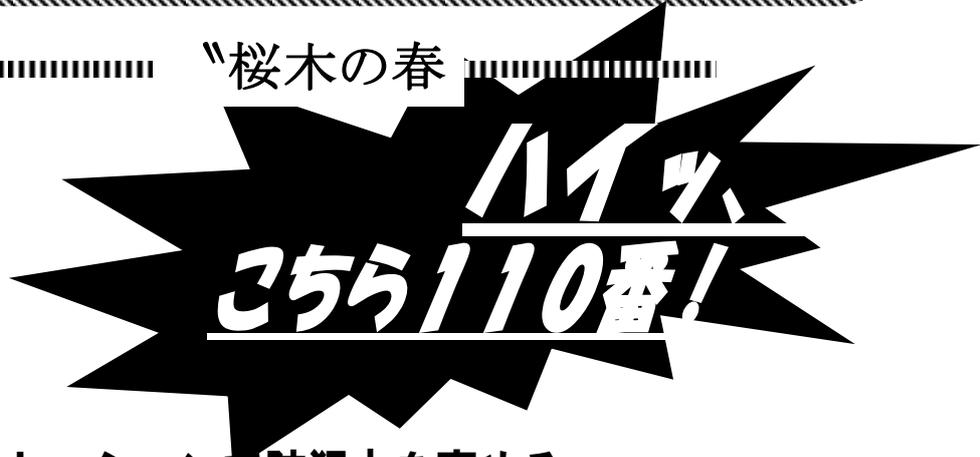
周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

[sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp](mailto:sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp)

..... 防災・防犯のまち ..... “桜木の春” .....



## 110番シュミレーションで防犯力を高める

1月8日の安全パトロールの日、城ヶ丘公園で「ひったくり事件発生」を想定した110番シュミレーション（模擬体験学習）が行われました。各自治会のパトロール隊員40名が参加し、周南警察署員の指導を得て防犯力アップに努めました。



指令室

こんな勉強をしました

【110番のかけかた】

- 1、こちら110番 何がありましたか  
(不審者、交通事故)
- 2、いつ、どこでおこりましたか  
(時間、場所、近くの目標物)
- 3、どのような事件(事故)ですか  
(被害、けがの状況)
- 4、犯人について何かわかりますか  
(服装、人数、特徴)
- 5、あなたの連絡先は  
(名前、住所、電話番号)

※携帯電話でかける際は、場所をよく確認すること



「防災・防犯のまち」 「桜木の春」

1月の活動記録簿

田村第一  
コミュニティ会長



中山良夫  
警察署長



河村和登市長

新年ふれあい互礼会 (1/13)



とおの山  
午前7時20分

新春ふれあい登山 (1/1)  
朝の冷気の中  
初日に誓う

「防災・防犯のまちづくり」に  
励ましの言葉をいただきました。

《歓談風景》  
参加者一同、まちづく  
りについて熱く語り合  
っていました。



山頂に集う 450 名の  
方々から暖かい陽光に  
歓声があがりました。



特大吉  
大当たり

日の出まで  
の幕間、  
おみくじで  
にきわいま  
した。

初顔合わせで 桜木の課題を確かめ合う



公民館報コンクール  
奨励賞受賞 (1/25)

「さくらぎ」は  
生涯学習・地域活動への  
お誘いをする広報紙です。  
まだ、まだ未熟者です。

桜木公民館らしい  
優等生の  
学習風景でした。



公民館講座の学習風景  
テレビで紹介される (1/17)





運営委員さんによる

《リレー方式》

# 『フォークダンス』



次回は...

私たちフォークダンスの仲間は、月二回第1・3金曜日の10時から11時半までを、みんなで楽しく踊っています。人数はいつも22人から25人です。

初めての人でも人の流れに沿って歩けば良いのです。すると心も身体も軽やかになり、楽しい気持ちになります。お互いに手のぬくもりを感じながら顔を見合わせると自然に笑みが浮かびます。そして仲間が増えます。

世界各国の踊りに触れ、その国の文化を知ること、心が豊かになります。満開の桜の木の下で踊ったり、食事で話の花を咲かせることも楽しみのひとつです。

文化祭に出演し、心地良い緊張感も味わいました。

『若さと健康を保ちながら楽しい仲間づくり』をモットーにしています。

(運営委員 浜重繁子 荒巻和子)



書名	著者名
みぢかなマーク	
かいけつゾロリのでんごくとじごく	原 ゆたか
いのちが危ない!	江原 啓之
子どもが危ない!	江原 啓之
美しい国へ	安倍 晋三
人は見た目が9割	竹内 一郎
森鷗外の事件簿	楠木 誠一郎
夜行快速えちご殺人事件	西村 京太郎
佐賀のがばいばあちゃん	島田 洋七
がばいばあちゃんの笑顔で生くんしゃい!	島田 洋七
がばいばあちゃんの 幸せのトランク	島田 洋七

書名	著者名
ハリーポッターと謎のプリンス 上下	J. K. ローリング
出口のない海	横山 秀夫
東京タワー	リリー・フランキー
となり町戦争	三崎 亜記
親のころ	木村 耕一
子どもが育つ魔法の言葉	ドロシー・ロー・ノルト
花おりおり	湯浅 浩史
鏡の法則	野口 嘉則
江戸小ばなし	岡本 和明
神戸の小さなケーキ屋さん「ティータイム」のレシピ	上田 悦子
住まいをお手入れする本	



学校帰りに利用しています (中学生の常連客)

### 2月の公民館花壇



#### 見どころピンポイント!

ハボタン・・・

ボタンの花が咲いたように見えることから、『ハボタン』と名付けられたようです。

桜木老連『育苗同好会』の最後の苗です。長い間苗の提供ありがとうございました。

## 話し

たくてしょうがない

## 話

会議室2のめくれた壁板をきれいに張り替えました。美しくなった壁と窓際においた鉢の緑が、学習の世界に誘いこんでくれます。

まちで拾った明るいお話をこっそり聞かせていただけませんか



## 2月 さくらぎカレンダー

4日(日) まなびピア 2007

時間 10:00 ~

場所 新南陽ふれあいセンター

### 体験チャレンジの日

大人も子どももそろってタイケンジャー  
桜木公民館講座から『どんぐりの会』『手編み』が参加されます。

11日(日) 建国記念の日とおの山ウォーク

13日(火) 寿大学 (14:00~) [老連]

14日(水) 講座運営委員会 (9:20~)  
人権教育研修会 (10:00~)

22日(木) 資源物回収 (8:00~) [老連]

《俳句コーナー》  
・年男 声撒きながら 厄投げる  
・切干しを 混ぜて日向の 匂ひ増す  
・荒れ庭に 人待つ香あり 野水仙  
・ひとり言 向うて答へて 日向ぼこ  
・憂きことを そとたたんで 寒明けける  
(一洋)

集合時間・・・9時30分  
場所・・・馬屋公園(公民館西側)  
詳細は回覧をご覧ください

### 【 雑記帳 】

新春早々、新聞の社説に教育問題が顔を  
を出してきました。子どもたちの周辺は、  
昨年に増して賑やかになりそうです。

「教育の明日」

「速効を求めへからず」  
「近ごろは規範を守らず、社会のしきたりを損なうもの  
が大勢いる。これは教学の本意ではない。道徳を教え、  
誠実品行を尊重させるべきだ」

最近の言葉と思われるかもしれないがそうではない。  
約130年前の明治12(1879)年、明治天皇が発し  
た「教学聖旨」を現代風の表記に改めたものだ。

1月4日の新聞社説

周陽中学校「ふれあい」にもっと古い  
「若者への苦言」を紹介したことがあります。

ナポレオンがエジプト遠征の際、ナイル川河口のロセ  
ッタで石碑を発見しました。石碑の文は、最近の解説で  
2000年以上前の王様の法令であることが分かりまし  
た。その中に「最近の若者のだらしなさ」を嘆く一説が  
あるそうです。

大人の目から見る若者は、いつの時代  
にもだらしなく見えるものです。その「だ  
らしない」と言われ続けた若者が、電気  
や電話、テレビを発明し、宇宙にロケッ  
トを飛ばす世の中をつくったのです。

社説は、「教育は、水がしみ込むように  
ゆっくり進めるものだ。悪いところばか  
りに目を向けてはならない」と、結んで  
います。

桜木の子どもたちのために、親力(親  
の教育力)・環力(地域環境の教育力)が  
上手に使える、賢い大人になりたいもの  
です。